

リスク管理債権情報

<貸付金> (単位:千円)

区 分	平成19年度
破綻先債権額(A)	831,467
延滞債権額(B)	2,985,923
3ヶ月以上延滞債権額(C)	126,967
貸出条件緩和債権額(D)	674,730
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	4,619,088
貸付残高(F)	10,391,261
比率(E) / (F) × 100	44.75%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

<保証債務> (単位:千円)

区 分	平成19年度
破綻先債権額(A)	248,773
延滞債権額(B)	641,608
3ヶ月以上延滞債権額(C)	126,321
貸出条件緩和債権額(D)	245,662
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	1,262,364
保証債務残高(F)	8,013,379
比率(E) / (F) × 100	15.75%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

<求償権> (単位:千円)

区 分	平成19年度
破綻先債権額(A)	2,091,508
延滞債権額(B)	1,493,455
3ヶ月以上延滞債権額(C)	0
貸出条件緩和債権額(D)	0
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	3,584,963
求償権残高(F)	3,584,963
比率(E) / (F) × 100	100.00%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

破 綻 先 債 権 額 (A) 会社更生、破産、民事再生手続開始、整理又は特別清算の申立てにかかると貸付の元金残高額。

延 滞 債 権 額 (B) 自己査定における破綻懸念先と実質破綻先の元金残高額。

3ヶ月以上延滞債権額 (C) 弁済期限を3箇月以上経過して延滞となっている貸付の元金残高で、破綻先債権額及び延滞債権額に該当しないもの。

貸出条件緩和債権額 (D) 債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として元本の返済方法の変更及び貸付期間の延長の措置を図った貸付先の元金残高で、破綻先債権額、延滞債権額及び3ヶ月以上延滞債権額に該当しないもの。